

ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社
(以下「ディズニー」という)
第十七回ディズニー・チャンネル／ディズニーXD放送番組審議会
議事録

開催日時 : 2011年12月02日(金) 17:00~18:30
開催場所 : 東京都港区麻布台 2-4-5
ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社
ウォルト・ディズニー・テレビジョン・インターナ
ショナル ジャパン
スタジオ・ディズニー会議室

在任審議委員数 : 7
出席審議委員数 : 5
出席審議委員氏名 : 阿部 京子
木下 美子
中川 真弥
前田 耕作
山田 顕喜

その他、ディズニ : アイリーン・ハンベルガー
ーからの出席者 (プログラミング・シニアマネージャー／編成部)
待鳥 雅之
(コンプライアンス・スーパーバイザー／編成部)

- 議案**
- 1) ディズニー・チャンネル及びディズニーXDの番組編成・改編について
 - 2) ディズニー・チャンネル及びディズニーXD放送番組について
(下記の番組については、本会議に先立ち、各審議委員にDVDを送付した。)
 - ・「すすめ！オクトノーツ」
 - ・「シェキラ！」
 - ・「アベンジャーズ 地球最強のヒーロー」
 - ・「とび蹴り アチョ〜ズ！」

審議の概要

- 1) ディズニー・チャンネル及びディズニーXD番組編成について
ディズニー・チャンネル及びディズニーXDの番組編成・改編について説明が
され、下記のとおり意見交換が行われた。
(以下●印 審議委員からの意見及び質問、○印 ディズニーからの出席者の
回答)

- ディズニー・チャンネルについては、まずディズニー・ジュニアがプレイハウス・ディズニーからリニューアルされて、視聴率も大幅にアップしたため、リブランディングは成功したと言える。
- 日本のアニメーション作品については、平日3時半から『おじゃる丸』『夢色パティシエール』などを放送開始し、好評を得ている。今後も日本のコンテンツとオリジナルコンテンツとのバランスを上手く取っていきたい。
- 平日の19:00台は、「ナナドラ」と称して、日替わりのドラマゾーンとしている。ナビゲーターにゴリさんを起用して、お笑いテイストで番組内容を紹介し、実写ドラマ作品の認知も高まった。
- また、この枠の直前に放送される『フィニアスとファーブ』も高視聴率。今後も全社で盛り上げていく予定。
- その他、今年はウォルト・ディズニー生誕110周年のため、先月より、ウォルト自身が番組ホストを務めてディズニーの世界を紹介する『ディズニーランド・ストーリー』の放送が再スタートしている。また、今月は映画『ライオン・キング』3部作をHDで放送する予定。
- 『ハンナ・モンタナ』は今も新しいものを撮影しているのか？
- 既にファイナルエピソードが放送され、物語としては完結している。現在は過去のシーズンも放送中。
- ディズニーXDでは、『メジャー』を第5シーズンまで放送中。平日の17:00~19:00は「ウィニング・フィールド」として、『メジャー』『イナズマイレブン』『テニスの王子様』などスポーツ関連の作品を放送し、各作品とも好評を得ている。
- 新規の作品としては、『放課後エージェント！ オーサム』を9月に放送開始。ストーリーとしては、子供にとってつまらないものを、面白く変えて楽しくしてしまおう、という内容の作品。
- 『アベンジャーズ 地球最強のヒーロー』を放送開始。来年もマーベルの実写映画が幾つか公開されるため、マーベル作品やキャラクターの浸透を図っていきたい。
- 『リセス』『ポケモン』なども好調。
- 実写ドラマシリーズに関しては、浸透にはまだ時間が掛るものと思われるので、しっかり育てていきたい。
- 『爆音家族』等の視聴率を上げるのは難しいのか？
- 作品の認知度を上げるためには、じっくりと時間を掛けて浸透を図る必要がある。
- だが、日本にはこういった作品（コメディ）が少ないので大事だと思う。
- 突拍子もなくおバカをやっているのが、日本に合わないのだろうか？子供

たち自身がおバカをやっている作品が少なく、慣れていないのだと思う。

- 女の子が主人公の作品であれば、登場人物自身やファッションなど含めて
憧れる要素などもあり、受け入れられ易いのかも知れない。
- 今後も『とび蹴り アチョ〜ズ!』などの放送があるため、実写ドラマの
面白さの見せ方などを工夫して、強化していきたいところ。

2) ディズニー・チャンネル及びディズニーXD放送番組について

ディズニー・チャンネル及びディズニーXD放送番組について各委員より意見
交換が行われた。

(以下●印 審議委員からの意見及び質問、○印 ディズニーからの出席者の
回答)

『すすめ! オクトノーツ』について:

- 深い未知の海底を舞台に、バーナクルズ船長率いるオクトノーツたちが、
海の珍しい生き物を救出したり、海の神秘を探るという冒険物語。原作
は2006年に出版され、読者や批評家からも高い評価を得ている。テレビ
シリーズ自体は、2010年9月からイギリスなどで放送開始されている。
- 女の子にも見せてみたら好評だった。
- ネバーギブアップといった感じの良いメッセージが含まれており、親とし
ては、ぜひ子供に見てほしい。
- バンドエイドを張ってあげるといった行為は、子供が泣きやむといった不
思議な効果もある。優しさが出ている。
- 最後部分でモデルとなった生き物が実写で紹介されるのは良い。実際に
動いている部分があれば、さらに面白いと思う。
- 物でカモフラージュする、自然の営み、相手を許す優しさなど、道徳的な
ことも含めて、生きるために必要な教育だと思う。
- とても良いテンポで進む作りになっている。
- 日本でもこういった作品ができたらいと思う。

『シェキラ!』について:

- シーシーとロッキーは、一流のダンサーになることを夢見る二人組の女
の子。ある日、二人の友人であるデュースに、テレビ番組「シェキラ!シ
カゴ」のオーディション概要を渡されて、二人でオーディションを受ける
ことになり、ロッキーは見事に合格するのだが、シーシーのほうは緊張で
固まってしまい落選する。すっかり自信をなくしてしまったシーシーだが、

ロッキーに励まされ、手錠で無理矢理に手をつながれて二人で番組に出演。二人の息の合ったパフォーマンスを見た番組司会者は、シーシーとロッキーの2人とも採用する…、というのが第1話の内容。

- ふたりとも性格が対照的な少女たちで、あの年頃にありそうな組み合わせで面白い。
- ストーリーのテンポも良いし、しかもあの家庭環境（ごく普通の家庭）でという設定が良い。
- シーシー役のベラ・ソーンはまだ14歳と若く、ルックスも良いので今後も活躍が期待できる。
- このところ日本でのダンス熱も横ばいではあるが、こういった作品でまた盛り上がってくればよい。
- ダンスもスポーツの世界になってきたと思う。

『アベンジャーズ 地球最強のヒーロー』について：

- 世界で最も危険なスーパーヴィランと呼ばれる悪のミュータントたちが、刑務所から脱獄し、それらに対抗するべく、地球で最も強力な5人のヒーローたちがアベンジャーズと呼ばれる同盟を結成する、というストーリー。アイアンマン、ハルク、マイティ・ソー、キャプテン・アメリカ等が登場。
- 原作は1963・64年頃にコミックとして発表されており、テレビシリーズはアメリカでは2010年9月より放送されている。全52話制作。
- これを見てガンダムを思い出した。
- 原作が1963年頃と聞いて納得。その頃の最新のキャラクターだったのかなという印象がある。
- 伝統的な感じがする。
- マーベルなどアメリカのコミックのキャラクターは数が非常に多く、日本人にはまだなじみが薄い。
- 視覚的には面白いが、少々テンポが速すぎる感もある。
- 善と悪がいて、正義感といった要素があるのは子供にも良いと思う。
- マーベル作品については豊富なライブラリー、アーカイブがある。

『とび蹴り アチョ〜ズ!』について：

- とあるショッピングモールにあるボビー・ワサビ武術道場や、生徒たちが普段通うシーフォード高校を舞台としたコメディシリーズ。空手の得意な転校生のジャックと彼の仲間たちや色々なトラブルに遭遇し、それらを皆で協力して乗り越えることによって成長していく姿を描いている。

- 転校生というと弱い立場にあることが多いが、ジャックのような滅法強いヒーローが登場するのは痛快。今の日本にもほしい。
- ベストキッド的なのところもあるが、基本的にコメディ。主人公ジャック役でルックスの良いレオがいて、女の子のキムも登場するので、女の子にも見てほしい。
- ボビー・ワサビ（本作に登場する架空のカンフー映画スターで、チェーン展開している道場のオーナー）のネーミングはどうか？
- 特に不愉快に思わない。すしのワサビのようで、あまり強そうではないようにも聞こえるが。
- 今後の展開が楽しみ。

以上をもって本会議は、議案の審議を終了したので18：30に閉会した。

上記の議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、本議事録を作成する。